

<訂正版>



国民春闘共闘

2023年度 第4号
2022年 11月 18日

国民春闘共闘委員会
〒113-8462 東京都文京区湯島 2-4-4 全労連会館
☎ 03-5842-5621 FAX 03-5842-5622

年末一時金 第2回集計

前年並つづく！粘り強い交渉を

国民春闘共闘委員会（全労連、純中立労組懇、地方共闘などで構成）は11月17日、2022年度第2回目の年末一時金集計を行いました。

<回答状況>

	2022年	2021年同期
回答引き出し組合	547	597
うち 妥結組合	168(30.7%)	134(22.4%)

<要求と回答内容>

集計方法&対象		2022年回答	2021年同期	同期比
単純平均	月数	1.99	2.03	-0.04
	額(円)	597,029	627,682	-30,653
加重平均	額(円)	630,402	616,205	14,197
	組合員数	88,797	107,404	

<前年実績との比較が可能な組合における金額・率の比較>

		組合数	うち前年実績以上	22年回答	21年実績	実績比
単純平均	月数	458	340(74.2%)	1.99	1.98	0.01
	額(円)	319	204(63.9%)	604,000	598,259	5,741

<非正規の仲間の回答状況>

		時給制	月給制	再雇用・時給制	再雇用・月給制
単純平均	月数	0.779	1.374	0.926	1.459
	前年同期	1.038	1.448	1.245	1.592
	前年実績	0.954	1.399	0.876	1.429
	額(円)	59,260	229,164	106,625	185,481
	前年同期	58,212	288,879	87,791	235,944
	前年実績	54,441	183,001	74,298	166,484

※額または率のみの報告があるため、双方は連動しません。

※言葉による回答は平均などの計算から除いています。

<訂正版>

<集計結果の概要>

回答引き出し・妥結状況

11月17日に実施した年末一時金第2回集計には、別表の21単産・部会から報告が寄せられました。回答引き出し組合は~~595組合~~ 547組合で、前回集計（第1回集計：11月10日時点）の~~440組合~~ 402組合から~~155組合~~ 145組合増え、前年同期597組合とほぼ同水準となつて50組合下回っています。

数次の上積みを獲得しているのは回答引き出し組合の~~7.7%~~ 8.2%にあたる~~46組合~~ 45組合となっています。

妥結しているのは~~189組合~~・~~31.8%~~ 168組合・30.7%で、前回集計（~~113組合~~・~~25.7%~~ 99組合・24.6%）から~~76組合~~ 69組合・6.1%増え、前年同期（134組合・22.4%）を~~9.4%~~ 8.3%上回っています。

回答内容

回答月数が判明している~~528組合~~ 486組合での単純平均（一組合あたりの平均）は~~2.02ヵ月~~ 1.99ヵ月で、前回調査1.97ヵ月から~~0.05ヵ月~~ 0.02ヵ月増えています。前年同期比では~~0.01ヵ月~~ 0.04ヵ月減と、前回調査同様に前年並みの水準で推移しています。

回答金額が判明している~~380組合~~ 347組合での単純平均額は~~630,423円~~ 597,029円となり、前回調査606,423円から~~24,000円~~・~~4%上昇し~~ 9,394円下がりました。前年同期比では~~2,741円増~~ 30,653円減となっています。

加重平均（組合員一人あたりの平均）は~~678,766円~~ 630,402円で、前回調査（626,506円）から~~52,260円~~・~~8.3%~~ 3,896円増加。前年同期比では~~62,561円~~・~~10.2%~~ 14,197円増となっています。

単純平均で前年実績比較可能な組合を見ると、月数では~~499組合~~ 458組合のうち~~373組合~~・~~74.7%~~ 340組合・74.2%が、金額では~~348組合~~ 319組合のうち~~226組合~~・~~64.9%~~ 204組合・63.9%が前年実績以上となっています。前回調査同様に、月数・額ともに前年実績を若干上回る状況で推移しています。

産業別に見ると、鉱業・建設業、製造業、マスコミ関係の一部で高い水準となっていますが、卸売・小売業、医療、社会福祉・介護関係では単純平均月数で2ヵ月を下回っており、コロナ禍の中で奮闘するエッセンシャルワーカーや物価高騰に苦しむ労働者の切実な要求に十分に答える回答状況とはなっていません。

パートやアルバイトなど非正規雇用で働く仲間の一時金

非正規雇用で働く仲間の一時金は、別表の7単産128組合から獲得報告が寄せられています。

このうち、時給制労働者の一時金獲得は、日本医労連、生協労連が各62件、全印総連3件、出版労連、JMITU各1件の計129件となっています。単純平均月数は0.779ヵ月（89件）で前年同期1.038ヵ月、前年実績0.954ヵ月をいずれも下回っています。

金額報告のあった56件の単純平均は59,260円となっています。前年比較可能組合を見ると月数・額ともに前年実績を若干下回っています。

月給制非正規雇用の仲間の一時金は77件の獲得となり、単純平均で1.374ヵ月（61件）、

<訂正版>

229,164 円（26 件）となっています。

継続雇用者では、時給制労働者が 8 件の引き出しで、単純平均 0.926 カ月、106,625 円となっています。月給制労働者は単純平均 1.459 カ月、185,481 円となっています。

月数・額ともに正規雇用労働者より低く抑えられており、「非正規差別やめろ！」の声を一層強めていく必要があります。